

医療の前線

「心房細動アブレーション、 最先端の不整脈治療」

わが町のホームドクター

左京区 鈴木 八重子様



ボランティアに感謝!!

京都博愛会病院において長年ボランティアとして活動
いただいている「ひといき会」が、昨年、京都市社会福祉
協議会から表彰されました。写真はコーラスの練習風景。
詳しくは、ボランティアの掲載ページをご覧ください。

病院経営の効率化について

京都博愛会病院院長 金 盛彦

今年是不安定な天候が続いていますが、夏も猛暑が心配
されます。

昨年の東日本大震災による原発事故に発する電力不足
が懸念され、特に原発依存度の高い、この関西地区では電
力供給が大きく低下する見込みであり、夏本番を前に節
電対策を強化することが求められています。クールビズの実
施期間の延長やさらに軽装のスーパークールビズの採用、そ
して企業によってはサマータイムの導入などがすすめられてい
ます。

病院も例外ではありませんが、患者さんの生命・安全に
影響を及ぼさないことが大前提で、患者さんの病状に配慮
しながら節電対策を講ずることが肝要です。当院では以前
より、建物内の照明の一部消灯や空調の稼働時間調節など
を行ってきましたが、さらに種々の工夫をしながら節電対
策に取り組んでおります。

また当院では、病院経営の効率化の一環として、かねて
から準備をすすめてきましたSPD（物流管理システム）が、
いよいよ7月から運用開始となりました。SPDとは病院
で使用・消費する医療材料などの物品の流れを一元化し、
包括的に管理するシステムです。無駄な経費を極力抑え、
コスト削減、原価管理など病院経営改善、安定化に資する
のが目的ですが、せっかくこのシステムが導入されても、職
員の皆さんのコスト意識が徹底しなければあまり効果はあ
りません。この機会に、今一度、日常業務の中で時間・物・
金銭の無駄を見直し、節約する習慣を身につけていただき
たいものです。

病院にとっては、経済性の追求が目的ではありませんが、
安心・安全でより良質な医療を提供するためには、安定し
た経営基盤の確立が必要です。これからも一層の努力を重
ねていく所存ですので皆さんのご協力とご理解をお願いする
次第です。

【博愛】博愛の精神に基づいて、患者さまや地域の人々にやさしく、親しまれ、信頼される病院を目指します。

【協調】患者さまを中心に協調の精神でチーム医療を行います。

【健康】私たち自身の心と身体の健康に留意し、良い医療・介護・福祉を提供します。

基本理念

医療の 前線

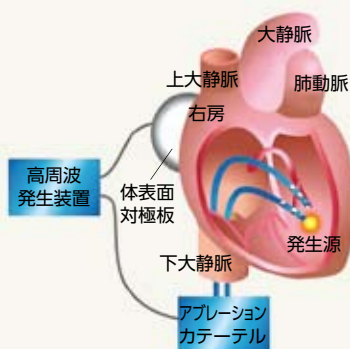
心房細動アブレーション、 最先端の不整脈治療

富田病院 内科部長 川島 明代志

心房細動は、不整脈の一種で四〇歳台から増え、患者数は200万人以上と推定されています。心房細動の状態では、左心房の中に血栓ができやすく、血液の流れによつて脳に運ばれると脳梗塞の原因となります。心房細動により脳梗塞の発症率が5倍以上に高まります。治療は、慢性心房細動の場合、血液を固まりにくくする薬（抗凝固薬）や心拍が速くなり過ぎないようにする薬を飲み続ける必要があります。当院では、今年1月より心房細動に対するカテーテルアブレーションを開始しました。すでに、発作性心房細動で完治され、薬を飲み続ける必要がなくなった方がおられます。この手術は、早期の心房細動（発作性）の場合、90%以上の成功率が見込めます。発作が慢性化してしまうと、50%前後に低下します。日本循環器学会が作成した「不整脈の非薬物治療ガイドライン」においてもカテーテルアブレーションを、有効な根拠のある治療として提示しています。

若い人、心房細動の初期の段階の方には、ぜひ治療を検討していただきたいです。

この最先端の不整脈治療のために、大阪医大より垣田先生を招いて治療をお願いしています。一般に、手術時間は3〜4時間前後かかるとされていますが、垣田先生は、アブレーションのスペシャリストで、2時間程度で治療されます。入院は三泊四日前後です。心電図で、心房細動を指摘された方は、ぜひ富田病院に御相談下さい。



肺静脈にリング状のカテーテルを挿入し、不整脈の原因となる部位を高周波で焼灼。注射器は、肺静脈のモデル。

医療の 豆知識

高額療養費制度

富田病院 地域連携室

入院して手術を受ける場合など、一月に掛かる医療費がたいへん高額になることがあります。そこで、自己負担額の上限（限度額）を定めて、患者さん自身の医療費負担を軽減することを目的に設けられた制度が「高額療養費制度」です。

この制度には、いったん医療費全額を医療機関に支払い、自己負担限度額を超えた分を後から申請することで保険者から還付される「償還払い」と、事前に医療機関に対して限度額適用認定証を提示して、自己負担限度額まで支払う「現物給付」の二通りがありますが、ここでは現物給付の場合について、以下に例をあげて説明します。

博愛太郎（仮名）さん68歳は、発作性心房細動の

ため、カテーテルアブレーションを行い、5日間入院しました。手術代を含めた入院医療費の合計は127万5,390円で、その内の3割である38万2,620円が博愛太郎さんの自己負担額になります。しかし、事前に医療機関に対して限度額適用認定証を提示しておく、博愛太郎さんの自己負担限度額は適用区分Aであれば15万7,754円、Bであれば9万1,844円、Cであれば3万5,400円になります。※図1・図2を参照（※高額療養費は一月単位で計算するため、月をまたいだ場合、金額が変わります。）

また、高額療養費制度の現物給付は、平成24年4月より外来の医療費についても適用されています。申請手続きなどご不明な点がございましたら、各病院の医事課または地域連携室へお問い合わせ下さい。

図1 <70歳未満>

適用区分	所得区分	自己負担限度額（月額）
A	上位所得者*の世帯	150,000円 + (医療費 - 500,000円) × 1% (年4回目からは83,400円になります)
B	一般の世帯	80,100円 + (医療費 - 267,000円) × 1% (年4回目からは44,400円になります)
C	低所得者の世帯	35,400円 (年4回目からは24,600円になります)

※上位所得者…被保険者の標準報酬月額が53万円以上の世帯

図2 <70歳以上>

適用区分	所得区分	自己負担限度額（月額）
Ⅳ	現役並み所得者	80,100円 + (医療費 - 267,000円) × 1%
Ⅲ	一般	44,400円
Ⅱ	住民税非課税世帯	24,600円
Ⅰ	住民税非課税世帯であって、その世帯の所得が一定基準*以下の人	15,000円

※年金収入のみの方の場合、年金受給額80万円以下など、総所得金額がゼロの方



「ひといき会」の 活動を紹介します !!

京都博愛会病院 精神科作業療法室

「ひといき会」は、京都博愛会病院で活躍していただいている地域のボランティアの会です。

主な活動場所は精神科作業療法室で、現在9名のボランティアさんが、コーラスや書道、フラダンスの指導や作業療法のための院内喫茶の手伝いなどを通じて作業療法士（OT）と共に、入院患者さんの「やってみよう」という前向きな気持ちや動きを引き出すサポートをしていただいています。

また、年1回クリスマスには、病棟のデイルームにおいて発表会を行っています。

会長である谷岡孝子さん（写真：向かって後列の左から2番目）は、「コーラスを通じ、患者さんが意欲を出すきっかけになれば」と、患者さんの年齢層に配慮した曲の選曲にも心を配られています。

ひといき会はまもなく20周年を迎えます。

昨年、京都市社会福祉協議会から、「長年ボランティア活動を通じて人が輝く福祉のまちづくりに貢献した」とのことから、ひといき会が表彰を受けました。

ひといき会のボランティア活動に興味のある方は、お気軽に精神科作業療法室までお問い合わせください。入会・見学歓迎いたします。パンフレットもご用意しています。



わが町のホームドクター

左京区 鈴木八重子

その時、私は黄泉（よみ）の国への入り口にいた。主人と弟が小声で私の葬儀の話をしているのが聞こえた。意識がないのに何とも云いようのない不思議な気持ちだったのを覚えている。主人は家に帰り、白い布に私の旅立ちに着せるための「般若心経」を墨書きしてくれた。

これは三年前の出来ごとです。かかりつけの病院から博愛会病院へ転送されたあとの意識不明の四日間のこととは全く覚えていません。病名は「敗血症」でした。輸血や人工呼吸器等のあらゆる処置のお蔭で再び新しい命を頂きましたが、病人の私にとって一番辛かったのは採痰でした。集中治療室で一ヶ月お世話になり、病室に移ってから気管切開等を受け、点滴も三ヶ月続けて下さり、車椅子、杖等の

訓練にリハビリの先生方の御指導を受けました。看護師の方々の励ましのお蔭で車椅子に一人で乗れて、トイレに行けた時の感激は忘れられません。

入院三ヶ月目、リハビリ病棟に移して頂き、理学療法、作業療法の先生方の猛特訓のお蔭で、杖で歩けるようになりました。退院にあたり家庭での過ごし方まで先生方や居宅介護支援の方々と交えて御配慮いただき、日常生活に不自由のないよう家の中の段差をなくす工事や入浴の際の細かな御指導を受けました。しかし退院後、私の不注意であまり動くことをしなかつたため再び歩行困難になり、訪問リハビリのお世話になることになりました。そして、居宅介護支援の方々のお力添えで「ユーカーリの里」のデイサービスでお

世話になり、今日に至っています。いま私は89歳。残りの命に感謝し、一日一日を大切に過ごしたいと思うことしきりです。

金院長先生、富田素子先生、河原崎先生、リハビリ科の先生方、各病棟の看護師の皆様、居宅介護支援の皆様、有難うございました。



新任ドクター 自己紹介

内科医師

小西 憲子



私は昭和四十一年、京都大学医学部を卒業しました。

当時は大学紛争の始まりで、国家試験ボイコット、大学病院への入局拒否などのため、松江日赤、国立姫路病院などの勤務を経て、昭和五十年に京大第三内科に入局しました。その時から、腎臓病学を専門にすることになりましたが、第三内科は循環器がメインで、腎臓班は研究費もなく、まさに冷や飯食いでした。研究的なことも機器がないためにできず、第二病理の教授の好意で病理学教室の機器を使わせてもらい、腎生検組織の免疫病理学で学位をとりました。その後、「家庭持ちの女は常勤で仕事をするべきでない」と言う教授のいる教室を出て、京都結核予防会循環器科、武田病院、京都民医連中央病院、同第二中央病院に勤務しました。

その一方で、学校検尿生みの親である故高島雅行先生のお手伝いをして、京都腎臓病総合対策推進協議会の理事・副会長をしてきました。この仕事は、昨年、会長が替わったのを機に辞しました。

両中央病院では血液透析医療にも携わり、第二中央病院のサテライトである川端診療所の所長を七年勤めて、定年より一年早く退職しました。非常勤になり、かねて、したいと思っていたことをしてきました。一段落しましたので、またきちんと働こうと思い、今回、ご縁がありまして当院に勤めることになりましたので、どうぞよろしくお願いいたします。



連携施設
紹介



社会福祉法人仁恵会 『グループホーム・ デイサービス新町御池』が 4月にオープン!

京都博愛会病院の向かいにある特別養護老人ホーム「ユウカリの里」を運営する社会福祉法人仁恵会は本年4月、京都の中心地である新町御池に定員27名のグループホームと定員12名（1日当たり）の認知症デイサービスを開設いたしました。

近隣ではこうした入所施設が特に不足していることから、今後ますます地域の福祉団体や町内会と連携を図り、協力医療機関である富田病院・京都博愛会病院と力を合わせて、少しでも地域に貢献して参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、各サービスのご利用等に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

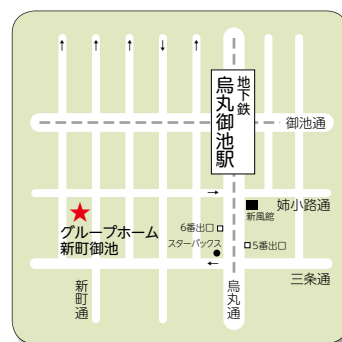
グループホーム・デイサービス新町御池

TEL. 075-253-6927

FAX. 075-253-6929

特別養護老人ホーム「ユウカリの里」

TEL. 075-712-1120



交通案内

地下鉄烏丸線・東西線「烏丸御池」駅下車、5番出口もしくは6番出口をご利用ください。来客用駐車場はございませんので、近隣の有料駐車場をご利用いただくか、公共の交通機関をご利用ください。

〒604-8206 京都市中京区新町通姉小路下ル町頭町92

京都博愛会病院

TEL:075-781-1131 〒603-8041 京都市北区上賀茂ケシ山1
<http://www.kyoto-hakuaikai.or.jp/hakuai/>

富田病院

TEL:075-491-3241 〒603-8132 京都市北区小山下内河原町56
<http://www.kyoto-hakuaikai.or.jp/tomita/>

訪問看護
ステーションはくあい

TEL:075-491-2711 〒603-8041 京都市北区上賀茂ケシ山1
http://www.kyoto-hakuaikai.or.jp/hakuai_nursing/

デイケアセンターとみた

TEL:075-491-0700 〒603-8132 京都市北区小山下内河原町69
http://www.kyoto-hakuaikai.or.jp/tomita_care/